

やる気と感動

学校だより 20号
平成29年
3月13日(月)

= 卒業おめでとう! = 君たちの残した歴史を忘れない!

第6回 卒業証書授与式 校長式辞より (一部省略)

六十四名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。本日をもって、三年間の中学校の課程を修了するとともに、九年間の義務教育を終了することになります。

この仲間達と過ごした南部中学校の三年間はどうか。きっと一生忘れない素晴らしい思い出と、生涯を通じて支え合える大切な仲間を得られたのではないかと思います。私とは二年間の付き合いでしたが、皆さんの明るさ、素直さ、前向きな姿勢がとても印象に残っています。三年間の中学校生活では、悩んだことも苦しんだことも、壁にぶつかって落ち込んだこともあったでしょう。自分に自信が持てずいらしたり、悔し涙を流したこともあったでしょう。友人関係を築く難しさも感じたと思います。しかし皆さんは、自分たちの課題にしっかり向き合い、自分たちで考え、自分たちの手で克服していこう、一つになって取り組んでいこうと、本音で語り合い、本気で取り組んできました。その姿は、『気づき・考え・行動 そして感動』の南部中学校実践理念そのものでした。

県大会・関東大会・全国大会へと駒を進め『南部中学校ここにあり』と示してくれた、各種大会やコンクール。峡南支部大会の南部中チームの「あいさつ」「返事」「闘う姿勢」は峡南全体の手本となるものでした。輝城祭・音楽発表会・三年生を送る会では鳥肌が立つほど素晴らしい合唱を聴かせてくれました。日常生活も含め数多くの場面で皆さんから、質の高い集団にしか持てない、『強い集団の意思』を感じ取ることができました。たくましく、大きく成長した皆さんの姿を見ていると、南部中の教育に携われたことを誇らしく感じます。南部中で培った自ら『気づき・考え・行動』する力、『感動』できる心は、きっと今後の人生の大きな宝となることでしょう。

本校は昨年度から、地域とともにある学校、コミュニティ・スクールの指定を受け、教育委員会のご指導を受けながら、本年度一五名からなる、学校運営協議会を設置しました。年間四回の会議では、毎回二時間を超える熱心な意見交換が行われ、五月の学校経営案の承認から二月の学校関係者評価まで一年間を通して、時には厳しく、時には温かく貴重なご意見や提案をいただき、南部中学校を熱い気持ちでしっかりと支えていただきました。

皆さんはこの三年間で、福祉体験、職業ワイド相談、職場体験学習、各種集会や授業なども含め、たくさんの地域の方々にご指導をいただき、温かく見守られ、支えられてここまで育ってきました。感謝の気持ちを決して忘れず、ふるさとの自然やふるさとの人々、ふるさとの思い出を、生涯大切にできる人になってください。

これから皆さんは中学校を卒業し、新たな進路へ向けて進んでいきます。様々な場面で自分で考え、自分で決め、自分の力で行動して行くことを求められます。甘えや妥協は自分の人生にそのまま跳ね返ってきます。

どんな困難にもくじけず立ち向かっていく『覚悟』、素晴らしい人生を歩んでいくための『覚悟』を持って卒業して行ってください。

第六回卒業生として、南部中学校を力強くリードし、新たな歴史を刻んだ皆さんの姿を、後輩達もしっかりと目に焼き付け、目指す目標として心に刻んだと思います。みんなで関わって築いてきた、「あいさつ」「合唱」「全力応援」「脚下照顧」「無言清掃」を受け継ぎ、さらに発展させ、今年以上の南部中を創ろうと決意を固めていると思います。

結びになりましたが保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。あらゆる場面で親の手助けを必要とした子ども達が、義務教育の九年間で、ここまで成長しました。その成長過程を間近でご覧になり、共に歩んでこられたご家族の皆さんにとって、本日の感慨もひとしおかと思えます。心からお祝い申し上げます。卒業生の皆さんの、これからの成長と活躍を祈念し、式辞といたします。